

とうべつデコ活宣言!

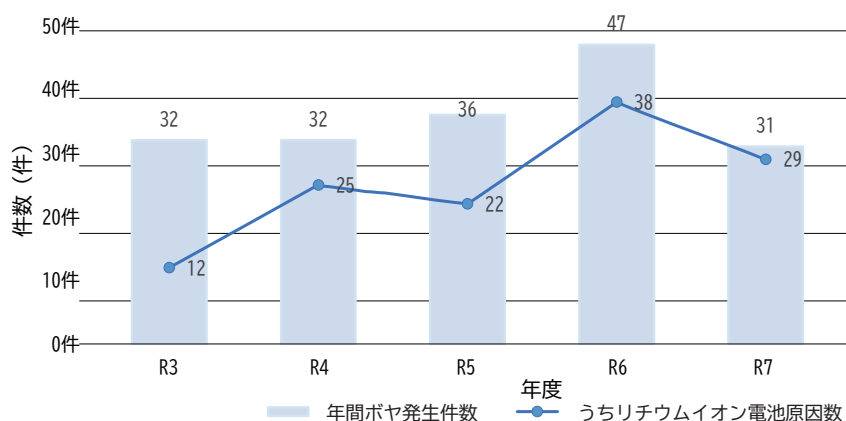
～みんなのゆるエコろがけ～ 拡大版

「充電して使うもの」は、捨て方を確認!

モバイルバッテリーやハンディファン、ワイヤレスイヤホンなどには、小型充電式電池が使われています。回収ボックスで集めることで再利用できますが、ごみに混ぜてしまうと、収集車で圧縮されたり、処理施設で砕かれたりした際の衝撃で発火し、火災につながるおそれがあります。

資源を有効に活用し、安全なごみ処理につなげるため、使い終わった製品は、ごみ袋に入れる前に回収方法を確認し正しく分別しましょう。

年間ボヤ発生件数とリチウムイオン電池原因件数



当別町のごみを処理している北石狩衛生センターでは、令和7年度に31件のボヤが発生し、そのうち29件がリチウムイオン電池が原因でした。

リチウムイオン電池がごみに混ざると、収集車や処理施設で火災につながる危険があります。モバイルバッテリーや充電式の小型家電などは、一般のごみに混ぜず、必ず分別して出してください。

家の中にありませんか?



モバイルバッテリー



ハンディファン



ワイヤレスイヤホン



電気シェーバー

小型充電式電池の出し方は3ステップ

1

充電して使う製品か確認

捨てる前に、小型充電式電池が入っていないか確認しましょう。

2

電池を安全な状態に

製品から取り外した電池は、端子部分に絶縁テープを貼りましょう。

3

回収ボックスへ

3か所の回収拠点へお持ちください。

!

膨張・破損・発熱した電池は、回収ボックスへ入れず環境生活課へ相談してください。

3か所の回収ボックスへ

町内3か所にミックスパー、小型充電式電池、小型家電、繊維の回収ボックスを設置しています。

当別町役場 1 階



総合保健福祉センター ゆとろ



ごみ袋の前で、ひと分け ～暮らしとまちを守る二つのリサイクル～

身の回りの充電式製品と、レシートや封筒などの紙。捨て方を少し変えるだけで、火災を防ぎ、資源を次につなげることができます。

電池はほかのごみに混ぜず、紙は燃やす前に確認。今日からできる二つのリサイクルを紹介します。

■問合せ 環境生活課環境対策係 ☎ 23-2503

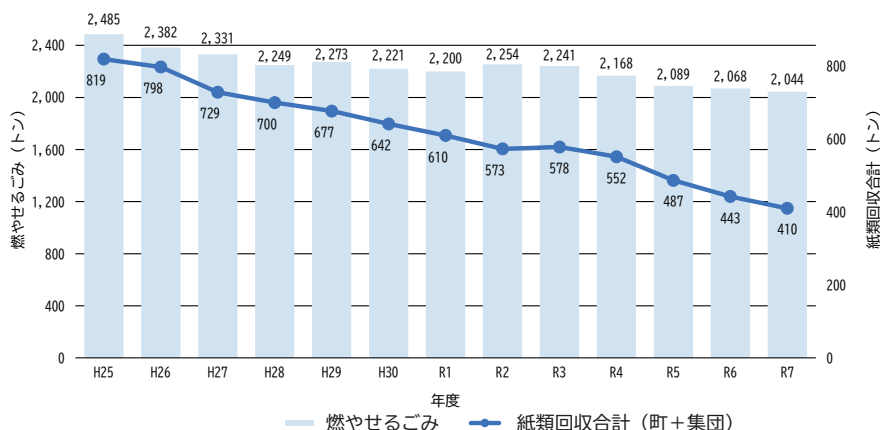
いつもの紙を、資源に変えよう

当別町では、燃やせるごみは年々減っているものの、紙類の資源回収量はさらに大きく減少しています。家庭で何気なく捨てているレシートや封筒、メモ用紙も、実は資源になるものがあります。紙を分けることは、ごみを減らし、資源を大切に使うことにつながります。

まずは、ごみ箱の横に紙袋を一つ置くことから始めてみませんか。

燃やせるごみと紙類の回収量の推移

※紙類は、町の回収と集団資源回収の合計



ごみ箱の横に紙袋を一つ置き、捨てる前に、「これは資源になるかな?」と確認してみましょう。

夫婦2人暮らしで、春からミックスペーパーのリサイクルに取り組み始めた方から、「これまで10リットルだったごみ袋が、5リットルになりました」との声がありました。皆さんも、できることからごみの減量と資源化に取り組んでみませんか。

当別町での分別方法

ミックスペーパーで出せるもの

レシート、シュレッダーくず、カレンダー、写真、窓付き封筒（ビニル付きのままでもOK）、ダイレクトメール、ノート・メモ用紙・カタログ、紙皿、伝票類・はがき



ミックスペーパーで出せないもの

資源回収
新聞、段ボール、紙パック、菓子箱などの紙製容器包装
燃やせるごみ
油紙、ウェットティッシュ、ラベル・ステッカー、シールの台紙、汚れのひどい紙

ミックスペーパーの出し方は3ステップ

- 1 紙袋に入れる
紙袋がない場合、大きな紙（チラシ・カレンダーなど）に包んでもOK。
- 2 中身が出ないように封をする
ガムテープやホチキスを使って封をしましょう。
- 3 回収ボックスへ
3か所の回収拠点へお持ちください。

西当別コミュニティセンター



捨てる前に度確認し、リサイクルできるものは回収ボックスへ。毎日のちょっとした分別が、ごみを減らし、資源を次へつなぐことにつながります。



小型充電式電池の回収



ミックスペーパーリサイクル